

別紙3（審査基準）

審査項目	審査対象	評価内容	配点
業務実施体制及び	業務実績	類似業務の豊富な受注実績があるか。	25点
	実施体制	予定技術者は、保有資格やその経験年数、業務実績から、高い技術力を有していると思込まれるか。	
		管理技術者及び主任技術者について、手持ち業務との重なり程度（繁忙度）はどうか。	
企画提案内容	業務実施方針等	業務の背景や目的、課題、仕様書等を的確に理解した内容になっているか。	15点
		業務を効果的・効率的に実施するための提案がされているか。	
		取組み意欲の高さ、対外的な発信や調整・意思決定が必要な発注者を支援する姿勢や配慮、業務への工夫等が見られるか。	
	提案項目① 仕様書中の「5 業務内容」における「(1)現況調査等」について、具体的な取組みや手法等の提案	考え方に的確性や実現性があり、業務や与条件に対し理解度の高い提案となっているか。	20点
		発注者が想定する催事を踏まえた取組みや手法等が具体的に示されているか。	
提案項目② 同「(2) 整備内容の検討案の作成」及び「(3) 検討案の調査・報告」について、具体的な取組みや手法、内容等の提案	考え方に的確性や実現性があり、業務や与条件に対し理解度の高い提案となっているか。	30点	
	別館の検討方法も含め、施設全体として費用を抑えつつ最適な整備の実現を図るための手法や考え方が具体的に示されているか。		
	整備方針の決定や今後の取組みに向けて、発注者にとって必要な報告書の内容がイメージできるように示されているか。		
見積価格	業務に要する価格	見積価格が提案内容に対して適正であるか。	10点